

吟 稲吟 OB 会 会報

No. 32

稲吟会ホームページ <http://www.togin.org/>

稲吟 OB 会 <http://www.togin.org/alumni/> 稲吟会 <http://www.togin.org/toginkai/>

発行：2010（平成 22）年 3 月 25 日 発行者：早稲田大学稲吟 OB 会事務局 大竹方

編集発行責任者：菅原 均（稲吟 OB 会事務局） 通巻第 32 号

■目次■	会長挨拶 …1	副会長活動（新年会）報告…2	会員の皆様の寄稿…2~4
	定例総会報告 5~6	稲吟会（現役）情報…7	事務局から…8

今年稲吟会創立 55 周年

早稲田の杜で会いましょう！！

稲吟 OB 会会長 大竹茂行（平成 3 年卒）

2010 年もすでに 2 か月が経ち、まだまだ寒い日があるものの、ひとごとに春の到来が感じられる季節となりました。

今年、いうまでもなく稲吟会にとって 55 周年という一つの大きな節目の年であります。OB 会としては昨年末、今秋の 55 周年記念大会・祝賀会に向けて実行委員の初会合を行い、本格的に準備を進めていく体制が整いました。

一方、現役は去年、会員的大幅減少という事態に至りましたが、加賀美幹事長のもと、少数精鋭で 55 周年記念発表大会に向けて結束を強め準備を進めているところです。

我々 OB 会としても、2 月に行われた総会で、現役諸君の新入生勧誘活動を支援すべくポスター・チラシの製作費用などを援助することを決めました。

今後とも 55 周年に向けての準備と現役支援の 2 つを活動の大きな柱としてまいりますので、皆様のご理解、ご協力を賜りたいと存じます。秋には早稲田の杜で皆様にお会いすることを楽しみにしております。



記念大会は、10 月 30 日（土） or 11 月 13 日（土）開催です！！！！

2月11日開催 稲吟OB会「新年会」

稲吟OB会副会長 松村哲郎（昭和48年卒）

今年の新年会も昨年同様、2月11日（祝）、早稲田大学近くの老舗・蕎麦屋“金城庵”で、開かれました。当日はあいにくの雨でしたが、OB15名・現役2名が集まりました。

出席者（敬称略）は、金子（35卒）、前田（35卒）、石上（35卒）、三井（38卒）、松井（41卒）、小林（44卒）、井上（44卒）、藤田（45卒）、大西（47卒）、松村（48卒）、大竹（平3卒）、菅原（平4卒）、田口（平6卒）、竹内（平7卒）、片山（平18卒）、柴原（現役3年生）、加賀美（現役2年生・幹事長）。

大竹OB会長が55周年記念大会に向けて挨拶をした後、先輩方から順に自己紹介を含め近況が話されました。石上・三井・大西先輩は久しぶりの参加、井上先輩（愛媛県から上京）は卒業以来40年振り？で話は盛り上がりました。



最後は恒例の「新宿節」「人生劇場」「早稲田大学校歌」を歌いお開きとなりました。「稲吟会はいいいえ！やっぱり心の故郷だ」との言葉が印象に残った新年会でした。



左から S35 石上さん
S38 三井さんと4月から4年柴原君
S47 大西さん

卒業以来(?)の再開
S44 井上さんと小林さん



宴も酣！年代入乱れて。

心の洗濯 「湯西川温泉行の記」

松井明治（昭和41年卒）



この湯西川温泉旅行は、野朗会(昭和41年卒)を中心に13名の有志が温泉宿で雪見酒を楽しもうということで、平成6年に始めました。漆黒の雪景色を照らす明かりの中に、ひとひらの雪が舞う幻想的な様が忘れられず、その後毎年回を重ね、参加者も昭和年代だけですが徐々に増えていきました。そして16回目の今年は、過去最多の26名の参加を得て、1月30日(土)から31日(日)までの日程で行って来ました。時期は毎年1月の最終土曜日、日曜日という決まりになっています。また、交通手段も15年間、浅草駅から東武特急で鬼怒川温泉駅へ下車、そこから白タクへ乗り換える方法でやってきました。ところが、今年は試みに、東京駅から貸し切りバスを仕立てようということになりました。当日、我々を迎えたバスは新しい大型バスで、しかも後部はラウ

ンジのイスとテーブルの付いた豪華バスでした。それに可愛いバスガールさんもいて、皆さん大満足。東京駅の大丸で弁当、おつまみはもちろん、日本酒、ビール、焼酎、ウイスキー、はたまたワインまでしこたま買い込み、午前 11 時にいざ出発！

バスが動き出すとたちまち、あちらこちらで昔話に花が咲き、まず一献が二献、三献、四献になり……、ほろ酔い気分になるのに時間はかかりません。その一方、トイレすぐ行きたくなる症候群の注文に応えるため、何度となくサービスエリアで休憩を取りながらのスロー旅です。なにしろ一番の若手が、60 歳のシルバー軍団です。そして、午後 4 時に奥日光の湯西川温泉へ到着！

ひと風呂のあとの宴会は、古色蒼然な稲吟会そのものです。「青春はゆく」「竹馬の友」「マンチューリ小唄」「蒙古放浪の歌」「八百屋お七」「人生劇場」等々、愛唱歌を放歌高吟、蛮声を張り上げて、懐旧の揺りかごに咽びながら夜は更けてゆきます。酔い痴れて早々と白川夜船をこぐ人もいれば、この歳になっても徹マンに打ち込む元気印もありました。

翌日は龍王峡で散策をした後、途中駅で数名と別れを惜しみ、一路東京へ。バスの中ではまたまた愛唱歌を合唱しながら、来年の再会を約して、浅草と東京駅で流れ解散となりました。

今回、バスの自由性に味を占めましたので、来年はこのところ雪のない湯西川に見切りをつけ、もっと雪深い所へという皆さんの要望に沿えられる旅行をと、今から企画を温めています。

平成年代の OB の皆さんも、心の洗濯に是非参加してみませんか。お待ちしております。

今年の参加者（敬称略）は次のとおりです。（ ）は昭和卒年です。

前田(35)、松本(39)、田丸、野中、前橋(40)、明石、伊東、仲野、二宮、長谷川、松井、松岡(41)、須田、中尾(42)、大西、富所(43)、小林、鶴岡(44)、伊勢屋、林田、藤田(45)、宮川(46)、野村、松村、安田(48)、前橋(40) 夫人のご同行

計 26 名



松井 記

(合掌) 小御門さん、森川さん(共に 41 年卒)が昨年ご逝去されました。

「長い第一幕を終えた名店、アリカに寄せて」

古賀 毅 (平成 4 年卒)



渡邊寛子さんと筆者(2010年1月)

昨年暮れに閉店の話が伝わってから、土曜になると各世代の元早大生が広くない店内を埋めつくし、思い思いに名残を惜しんでいた。1月の週末はさらに賑わった。ただ、名店の退場を惜しむ通常の場合と違って、平日は昼休みでも空いていた。つまり当代の大学生の関心には残念なことに入っていないからである。たまたま出会った稲吟会の学生に、終わりが近いのでこれから行くといったら「アリカって何ですか」と返ってきたので、むべなるかな。

大隈通りにある「昭和の喫茶店」を初めて訪れたのは、稲吟会に入ってからすぐのことだったと思う。そこは会の第二部室とか会議室であった。アリカ井なる、肉野菜炒めを卵でとじてライスに載せ

た品をかき込み、あとは水ばかりで粘った。

その後、稲吟会創立 40 周年、同 45 周年記念大会の折まで、OB 側の会議室は主にアリカである。会の歴史を振り返る記念企画には、各世代を知るアリカの証言も盛り込まれた。私自身は卒業後も大学院生あるいは講師として早稲田通いをつづけているため、オールド早大生であると同時に現役の常客でもある。夏冬の試験終わりには大量の答案を持ち込んで採点したものだし（去る 1 月もそうだった）、学生の卒論指導や悩み相談の場でもあって、仕事場として常用していた。オーナーの渡邊寛子さんからは、そのつど稲吟会の先輩たちの思い出話や最近のニュースなどをうかがうことができ、過去と現在が少しだけ交錯した。12 年前に亡くなった姉の恵美さんにも可愛がっていただき、なぜか見合いを勧められたこともある。

時代も学生文化も変わったことだし、たしかに限界かなと思っていたら、急転直下、終焉を惜しんださる教授の仲介で店をそのまま引き継いでくださる方が現れ、変則的な代替わりというかたちで存続が決まった。アリカ井も受け継ぐそうだから嬉しいことだけれど、いまの学生にも愛される店になってほしいと願っている。

右から 25 周年（スピーカーに隠れてすみません）、35 周年、40 周年、50 周年の記念の盾。 [同期 高橋と]
55 周年の祝賀会にアリカさんを招待しています。



「大学院生の近況」

嘉部好洋（平成 21 年卒）

早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻

前年の春に稲吟会を卒会しましたが、今は大学院生をやっています。

現在はロボットを扱う三輪研究室に所属し、私自身は生体計測センサの開発を行っています。理工キャンパスの一室に自分の机と作業台を構え、平日昼過ぎから夜まで活動します。論文発表前には徹夜もしばしばですが、比較的自由に研究をさせてもらっています。

研究生生活を経る中で、稲吟会で得たものは意外と大きいと時折実感しています。はじめての研究室コンパで詩吟を披露したときは、教授陣に「詩吟の嘉部」と一発で名前を覚えてもらったことがあります。また、発表会で独吟や挨拶を担当した経験からか、外部での研究発表では「発表姿勢がよい」と好評でした。もっとも、何よりも大きいのは稲吟会で出会った仲間です。研究や就職活動で落ち込んだときには、数人で飲み、愚痴を聞き合うこともしばしばあります。

今後は氷河期に匹敵するともいわれる就職活動が控えていますが、稲吟会や研究室で得たものを活かして乗り越えて行きたいと考えています。学生時代にお世話になった方々、OB として今後ともよろしく願います。



学内で研究発表を行う筆者の様子

◆◆2009/2010 年度 早稲田大学稲吟 OB 会定例総会報告◆◆

2010年2月11日(木)早稲田奉仕園キリスト教会館(セミナーハウス)におきまして、OB13人、現役加賀美幹事長の14人でOB会定例総会が開催されました。

新勸支援として、10数年振りにポスター、チラシ3000枚の作成をすることとなりました。

また、本年10月30日(土)または、11月13日(土)開催の創立55周年記念大会の特別予算も話し合わせ、大竹会長から大会の概要と大会に向けての体制(創立55周年記念大会実行委員会)が報告されました。

■ 2008/2009 年度活動報告 ■

★2008年(平成20年)

- 10月25日 稲吟会第53回発表会 小野梓記念講堂
- 稲吟OB会定例総会 Café Miyama(高田馬場)

★2009年(平成21年)

- 1月15日 稲吟OB会会報30号発行・年会費請求 事務局
- 2月11日 稲吟OB会 新年会 金城庵(早稲田)
- 3月3~8日 稲吟会春合宿 山梨・河口湖

■ 2008/2009 年度決算報告 同会計監査報告 ■

収入の部			支出の部			
費目	当初予算	決算	費目	前年度決算	当初予算	決算案
前年度繰越金	914,385	914,385	通信費	87,104	120,000	78,400
年会費*	500,000	547,000	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
寄付金	0	0	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
			会報製作費	81,345	60,000	5,300
			広報関係費	3,390	30,000	3,390
			行事関係費	25,280	150,000	41,090
			慶弔費	0	50,000	0
			役員会議費	3,100	50,000	10,160
			事務局経費	2,219	80,000	11,371
			記念大会特別会計繰入	1,000,000	500,000	500,000
			125周年記念事業寄付補助	200,000	0	0
			地方等支援	0	40,000	40,000
			振込手数料	630	5,000	1,260
			予備費	0	149,385	0
			次年度繰越金	914,385	0	590,414
合計	1,414,385	1,461,385	合計	2,497,453	1,414,385	1,461,385

※年会費84名

■ 役員人事 ■ ※ 下線: 新任 ※ 敬称略(卒年)

- 顧問 野中民蔵(S40) 松岡宣夫(S41) 須田芳矩(S42)
- 藤田和夫(S45) 小出秀文(S48)
- 会長 大竹茂行(H3)
- 副会長 田尾秀寛(S44) 松村哲郎(S48) 菅原均(H4) 事務局長
- 会計監査 山田仁史(H1)
- 事務局 田口勝徳(H6) 板倉真介(H10) 金田和歌奈(H21)
- 現役担当 片山俊(H18)

■ 年度未改定について ■

本年度より年度末を12月31日とする。

これにより、本年度(2009/2010年度)を2009年10月1日~2010年12月31日とし、来年度を、2011年度(2011年1月1日~12月31日)とする。※基本的に2月に定例総会を行い、同日新年会を開催します※

■ 2009/2010 年度活動計画 ■

★2009年(平成21年)

- 10月10日 稲吟OB会会報31号発行・会費請求 事務局
- 10月24日 稲吟会第54回発表会 葛西区民館

★2010年(平成22年)

- 2月11日 稲吟OB会定例総会 稲吟OB会新年会
- 3月3日～7日 稲吟会春合宿
- 3月 稲吟OB会会報32号発行・会費請求 事務局
- 3月～4月 稲吟会新勸支援
- 7月 稲吟OB会会報33号発行・創立55周年記念大会参加応募・会費請求 事務局
- 8月28日 稲吟会・OB会交流行事
- 9月 稲吟会夏合宿
- 10月30日 or 11月13日 稲吟会創立55周年記念大会・祝賀会
- 12月 稲吟OB会会報34号(55周年記念号)発行・会費請求 事務局

■ 2009/2010年度予算 ■

収入の部			支出の部			
費目	前年度決算	予算案	費目	前年度予算	前年度決算	予算案
前年度繰越金	914,385	590,414	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費*	547,000	550,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
寄付金	0	0	稲吟会新勸緊急支援			250,000
			通信費	120,000	78,400	120,000
			会報製作費	60,000	5,300	130,000
			広報関係費	30,000	3,390	10,000
			行事関係費	150,000	41,090	200,000
			慶弔費	50,000	0	50,000
			役員会議費	50,000	10,160	50,000
			事務局経費	80,000	11,371	100,000
			記念大会特別会計繰入	500,000	500,000	0
			地方等支援	40,000	40,000	40,000
			振込手数料	5,000	1,260	5,000
			予備費	149,385	0	5,414
			次年度繰越金	0	590,414	0
合計	1,461,385	1,140,414	合計	1,414,385	1,461,385	1,140,414

※年会費100名想定

2009年10月1日

■ 創立55周年記念大会特別会計予算 ■

収入の部			支出の部			
費目	50周年決算	55周年予算案	費目	50周年予算	50周年決算	55周年予算案
前記念大会繰越金	1,466,452	2,568,338	祝賀会費用(会場・飲食代)	1,000,000	850,000	1,200,000
2004/05年度通常会計より繰入	300,000		祝賀会関係費(事務・小物)	80,000	30,619	30,000
2005/06年度通常会計より繰入	500,000		発表大会関係費	150,000	202,630	300,000
2007/08年度通常会計より繰入		1,000,000	通信費	80,000	100,752	160,000
2008/09年度通常会計より繰入		500,000	事務費	60,000	21,838	30,000
会員賛助金※	1,883,855	1,000,000	会議費	50,000	105,457	120,000
祝賀会学生負担分	93,000	90,000	対稲吟会記念贈呈品	100,000	122,853	500,000
	200		記念品(参加者・来客に頒布)	400,000	106,050	200,000
利息(1月現在9018円)		9,500	表彰関係費	100,000	105,652	100,000
			予備費	166,452	0	127,838
			関連交流行事費			300,000
			記録関連			100,000
			次大会繰越金	0	2,568,338	1,000,000
			50周年記念誌(編集・発行・頒布)	1,000,000	29,318	1,000,000
合計	4,243,507	5,167,838	合計	3,186,452	4,243,507	5,167,838

※100名想定

■ 創立55周年記念大会実行委員 ■ 敬称略(卒年)

- 大会委員長 大竹茂行 (H3)
- 大会委員長 加賀美慧 (現役幹事長)
- 実行委員 松村哲郎 (S48) 菅原 均 (H4) 田口勝徳 (H6) 片山 俊 (H18)

◆◆ 稲吟会情報 ◆◆ 『2010年 春合宿』 早稲田大学稲吟会 第55代執行部幹事長 加賀美慧

今回の合宿は山梨県山中湖の「風林山荘」にて行いました。期間は3月3日から7日にかけてであり、4泊5日じっくりと吟と舞の技術向上に取り組みました。



風林山荘は宿の周囲を山々にかこまれ、さらに東には富士が構えています。私たちの宿泊した部屋からは富士山を一望できました。気温はやはり東京より低く厚着が必要でしたが、きりりと緊張感のある空気にいい声を出せる予感がしました。

練習場所は徒歩五分の位置にある宿私有の体育館です。この近辺には他にも体育館が多く、学生が合唱やバスケットボール等それぞれの活動に精をだしていました。稲吟会もまけてはいられません。

合宿初日、着物と袴の取り扱いと、着付けをしたうえで舞練習をしました。この日は四年生の先輩もみえていらしたので、先輩方からは最後のご指導として学ばせていただきました。体育館での練習でしたので、天井の高さを気にすることもなく剣をふり、ダイナミックな舞が可能でした。練習の後には夕食が待っていますが、今合宿の食事は特筆すべきものです。三食すべてが美味しく、バラエティにも富み、ご飯のおかわりを一杯二杯、みな豪快に平らげました。声を出せる程度に。

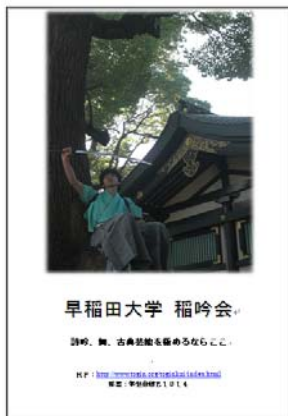
二日目、午前中は吟練習をしました。今合宿の課題吟は「静夜思」「楓橋夜泊」「ガイ下の歌」「寒梅」「東海の」であり、五言調、古体の詩を多くとりあげました。午後になると、雪がふり、あたりは冬景色となりました。大川吾風先生もちょうど到着なさいましたので早速ご指導いただきました。ゆり、あたりといったテクニックや、普段の練習では意識できないような 読み の細かい表現にいたるまで詳細に教わりました。あらためて詩吟の奥深さを実感することができました。

三日目、前日の雪が嘘だったかのような快晴となり、雲ひとつない青空が広がっていました。富士山も誇らしげにその裾を広げています。またこのときようやく、前日から聞こえていた地響きのような音が富士演習場の砲声だとわかりました。なにか「静夜思」の気分ではなくなります...

せっかくの天候ということで、外で練習することになりました。屋外での練習はみな初めてだったようです。湖畔にてコンダクターを手に、まず発声練習をします。そして「仙客来り遊ぶ」、なんとも贅沢です。それから、課題吟の練習にはいりました。たまにカップルが通りかかりますが、なんのその。のびやかに吟じたあと、宿に戻り先生にひとりずつ稽古をつけていただきました。一対一でみていただくと今後の練習における課題がよくわかります。特に吟詠時の読み、アクセントは自分ではできているつもりでも、なかなか正確に行うことが難しいと感じました。

四日目、最後の練習をして、先生をお見送りしたのち、春合宿納会をとりおこないました。おのおの合宿で磨きかけた声を存分に発揮し、堂々とした納会におわりました。

今合宿は、参加人数は少なかったもの、そのぶん充実した練習ができました。また寝食をともに5日間を過ごし、会員同士もより親密になりました。このメンバーでともに55周年大会に臨み成功を収められるものと確信しております。



早稲田大学稲吟会 新歓コンパ!! 4月17日(土)開催予定!!

一次会 18:00 海の家 (03-3209-7611) ①

二次会 20:20 甘太郎 (03-3363-8028) ②

10 数年ぶりのポスター・チラシ。
このポスターのもと多くの個性に出会えることを期待しましょう!

■ご訃報

S41 年卒	小御門 正年 さん	2009 年 9 月 29 日	ご逝去
S41 年卒	森川 良雄 さん	2009 年 12 月 10 日	ご逝去

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

OB 会員名簿正誤 名簿 (2007 年度版) について、以下の 5 件をご追加・修正ください。

名簿の内容について変更御座いましたら、meibo@tugin.org までお知らせください。

◆年会費 (5,000 円) の振込みお願い致します! ◆

卒後 3 年までは 4000 円です。

2 年以上お振込の確認が出来ない場合、名簿・会報の郵送サービスを停止しております。

但し、本年度は、名簿に住所の記載のある全ての会員の皆様に、会報をお届け致します。

これを機に年会費振込み、記念大会への御参加ご検討くださいませ。

振込先 ゆうちょ銀行 口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740

《他の金融機関からの振込の場合…》

ゆうちょ銀行 (金融機関コード 9900) 店番 019

店名 〇一九 (ゼロイチキユウ) 店 預金種別 当座、

口座番号 0061740 受取人名 ワセダダイガクトウギンOBカイ

都市銀行からのモバイルバンキングでの振込みも可能となりました (3 分で振り込み可能!!)。

※ご本人の納入状況は、稲吟 OB 会事務局会計幹事の板倉真介 (平 10) に電子メール (kaikai@tugin.org) もしくは往復はがきでお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上、板倉までお送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。※

☆☆担当より☆☆

H4 卒菅原です。この度事務局長を仰せつかりました。うやむやのまま、また同期の誼で、前副会長・事務局長の高橋君を事務局会報担当に雇い入れようと画策しておりましたが、見事断られ、理系出身の私が今回会報を担当致しました (武骨も武骨)。次回からは、H21 卒金田和歌奈さんが、中心となり会報をお届け致します。若手 OG の極め細やかな視点で鋭く社会に斬り込みます (なんちゃって)。